様式３(2020.08改)

作成日　令和　３年　１２月　５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392700023
事業所名	グループホームぬくもり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	近隣の幼稚園との交流や地域ボランティアの訪問もあり、賑わいの多い事業所でしたが、新型コロナウィルス感染症予防に因り、外部との行き来をすべて中止しています。それでも事業所内の年間行事は衛生面に気遣って実施できており、順次運動会やクリスマス会が催されています。また散歩ではご近所の皆さんと挨拶も叶い、法人の託児所に通う幼子たちとも散歩の時間帯が合えば顔を合わせることもあり、しばしの和みとなっています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	津島市、地域包括支援センター、民生委員、福祐寺住職、母体病院の栄養士・看護師をメンバーとして隔月開催を続けてきた運営推進会議は、昨年の6月開催を最後に現在まで書面開催となっています。2ヶ月分の活動内容をまとめた議事録は津島市のみの提出となっていますので、今後はメンバー全員のもとに届く手配とともに、津島市からも「家族の参加も…」と意見があがっているため、家族へ書面を届けていくことから始めることも検討していくこととしています。	○
重点項目③	,	
	ネット配信で都度行政情報が入るほか、管理者は更新や異動などで市役所窓口に出向き、情報共有をおこなっています。60代と未だ若く、介護度がついていますが知的障害や精神的な病の片鱗もみられる利用者については、入居してはいるものの医師の診断を背景として、本人の身元引受人、市役所、事業所とで連携を持ち、経過観察を続けているケースもあります。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	人数や時間の制限を設けたうえで「玄関での面会」ができており、その折りに居室担当者などから本人の日常の様子報告もおこなうためか、現状家族からの要望は特段ありません。介護計画書の更新時も玄関で説明のうえ署名を得ていますが、このときも家族からの要望は特に聞かれませんが、「外食で寿司を喜んだ」といったこれまでの経緯から、利用者には 機会に乗じてテクアウトする等の工夫をおこなっています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	×	×	○	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									